

適用規格					
定 格	使用温度範囲	−55℃ ~ +85℃ ⁽¹⁾⁽²⁾	保存温度範囲	−10℃ ~ +60℃ ⁽³⁾	
	使用湿度範囲	相対湿度90%以下 ⁽²⁾⁽⁴⁾	保存湿度範囲	相対湿度70%以下 ⁽³⁾⁽⁴⁾	
	電 圧	DC/AC 300V			
	電 流	70A（温度上昇値30℃以内）△3			
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗 [EIA-364-23]	100mAで測定する。	2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 嵌合相手：IT-PM-2S-DIR, IT-PD-2S-DIR	○	—
	絶縁抵抗 [EIA-364-21]	DC500Vで測定する。	1000MΩ 以上	○	—
	耐電圧 [EIA-364-20]	AC1000Vの電圧を1分間印加する。 （漏洩電流2mA以下）	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力 [EIA-364-13]	適合コネクタで測定する。	1) 挿入力： 50N 以下 2) 抜去力： 3N 以上（嵌合相手：IT-PD） 15N 以上（嵌合相手：IT-PM）	○	—
	繰り返し動作 [EIA-364-09]	100回の抜き差しを行う。	1) 接触抵抗：2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性 [EIA-364-28]	周波数50 ~ 2000 Hz, 加速度スペクトル密度 0.1g ² /Hz, 3軸方向各90分試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する	1) 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 2) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性 [EIA-364-27]	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 3軸方向各3回 試験する。 ※試験サンプルは、コネクタ以外の支柱にて 上下の基板固定する。		○	—
環 境 的 性 能	熱衝撃 [EIA-364-32]	温度(℃) −55→20~35→85→20~35 時間(分) 30→ 5MAX →30→ 5MAX を10サイクル試験する。	1) 接触抵抗：2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2) 絶縁抵抗：100MΩ 以上 3) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温湿度サイクル [EIA-364-31]	温度25℃,相対湿度80%:60分 ↓ 30分 温度65℃,相対湿度50%:60分 を24サイクル試験する。		○	—
	耐熱性 [EIA-364-17]	温度105℃中に120時間放置する。	1) 接触抵抗：2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2) 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	4種混合ガス [EIA-364-65]	温度30℃,相対湿度70% Cl ₂ :10ppb, NO ₂ :200ppb, H ₂ S:10ppb, SO ₂ :100ppb 未嵌合放置7日間 → 嵌合放置7日間	1) 接触抵抗：2mΩ 以下 ※導体抵抗含む。 2) 機能を損なう様な腐食等の異常がない こと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△3	1	DIS-F-00020361	TH. SANO	TY. TAKADA	20240508
備考	注1. 通電時の温度上昇を含みます。 注2. 使用湿度が80%を超える場合の使用温度範囲は-55~+55℃とします。 注3. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。 注4. 但し、結露しないこと。		承認	HS. OKAWA	20111105
			検 図	KI. HIROKAWA	20111105
			担 当	KN. SHIBUYA	20111105
			製 図	KN. SHIBUYA	20111105
試験規格の記載のない試験方法は「JIS C 5402(IEC-60512)」を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-339735-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	IT-P-2P-35H	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0636-0602-2-00	△3 1/1